

## 5 再整備コンセプト

### (1) 久屋大通の未来の姿

南エリアの再整備などを契機に、更なる多様性や寛容性のあるまちに生まれ変わった姿の一例を以

#### 歩く楽しさ・喜びにあふれるウォーカブルタウン

- ・ユニバーサルデザインがなされた誰もが訪れやすい空間になっている
- ・沿道の再開発と公共空間との連携が進み、駐車待ち行列や路上駐車が無く、歩行者や公共交通が主役の公共空間になっている



出典：2040年、道路の景色が変わる（国土交通省）の図を基に作成

#### 常に人を惹きつけるイベントや文化の発信地

- ・国内外から人を惹きつけるイベントがいつも開催されている
- ・広場でのイベントに限らず、沿道建物敷地や歩道空間でも常ににぎわいがある
- ・地域関係者等が連携して様々な活動に取り組み、にぎわいや憩いの空間が創出されている



#### 官民のパブリック空間の拡大

- ・緑の拡充や休憩施設の設置などの沿道の利活用により、地域の価値向上に取り組んでいる
- ・沿道建物は、建替え等を機に低層階が公園側に開かれた設えとなり一体感を生んでいる



出典：Nagoya まちなかウォーカブル戦略（名古屋市）





下に示します。



### 久屋大通の景観・緑で仕立てる Well-being な空間

- ・豊かな緑に囲まれたスケールの大きな空間や、個性と風格のある景観が継承され、居心地の良い空間になっている
- ・多様な人々の集まりに身を置くなかで、誰もが自分の居場所を見つけられる



### 新たな交流によるつながりや価値、文化の創造

- ・多様な人々による多様な表現活動が共存し、互いの感性が刺激される空間となっている
- ・多様な人々が出会い、憩い、交流でき、偶発の積み重ねが新たなクリエイティビティやイノベーション、カルチャーを生み出している



### デジタル技術の活用などによるエリア価値の向上

- ・先進技術や最先端モビリティが活躍し、多様な来訪者のニーズに応え運用されている
- ・データの利活用により得られた知見をエリアマネジメントに応用するなど、都市の問題に機敏かつ柔軟に対応している



出典：国土交通白書（国土交通省）の図を基に作成

### 拠点連携の推進

- ・名古屋高速栄出入口の供用や、駐車場のフリンジ機能の発揮などにより、自動車の都心部への集中が緩和されている
- ・三の丸地区、若宮大通公園やフラリエ、堀留上部空間の再生や整備などが進み、拠点間の回遊性向上に資する施策が展開されている

## 5 再整備コンセプト

### (2) 再整備コンセプトと基本方針

久屋大通の未来の姿の実現に向けては、まず取り掛かることのできることから実施し、積み重ね、そこで、下記のコンセプトや基本方針のもと、まずは公園を中心とした公共空間の整備を進めます。

#### コンセプト

### 「新たな創造が生まれるウォーカブルタウンのコア」 ～多様な人が集まる刺激と居心地～

#### 後世に受け継ぐべき視点

##### 名古屋を発信するシンボル

- 名古屋を代表するイベント空間
- 名古屋の顔となる良好な都市景観



##### 戦災復興のレガシー

- 南北に連なるグリーンインフラ
- 都心の貴重なオープンスペース



#### 新たに導入する視点

##### 日常的なにぎわい



##### 歩きたくなるまちの回遊性



##### 都心の憩い



久屋大通（南エリア）の再整備にあたっては、社会経済状況の変化を踏まえ、都会性とゆとりが共存するまちという栄地区の特徴や、名古屋の都心部を代表する空間となっている久屋大通の景観や大規模イベントが行われる南エリアの特徴を最大限に活かすことが重要です。

そのためには、後世に受け継ぐべきシンボル空間等としての役割を大切にしつつ、再生に必要な新たな視点を取り入れた整備や管理運営を実施し、中長期的な展望のもと、久屋大通の一体的な空間活用や、地域連携、DXの推進等を促すことで、様々な人にとって「居心地」がよく、感性が「刺激」される、ここにしかない魅力的な場所にするとともに、国内外から「多様な人」を惹きつけ、人々の出会いや交流により、南エリアを新たなつながりや価値が「創造」される都市の活力の源泉となる場としていきます。

また、当該エリアは、歩きたくなるまちづくりにとって重要な位置にあるため、周辺の個性あるなにぎわいの拠点（大須地区など）との連携を強化し、各拠点の持つ機能を有機的に結び付けることで、都心全体の都市機能を相乗的に向上させ、南エリアを栄地区や都心全体が「ウォーカブルタウン」（歩きたくなるまち）となっていくための主要な拠点「コア」としていきます。



継続し、波及させていくことが重要です。

## 基本方針

### 整備方針

#### 毎日にぎわう空間

- 多様なイベントを呼び込む
- 新たな発見・出会いを導く
- 市民のリビングをつくる



#### まちを歩きたくなる空間

- 公園と沿道が呼び合う空間をつくる
- 歩きたくなる仕掛けをつくる
- 誰もが歩きやすい空間をつくる



#### 都心の憩いとなる空間

- 自然に包まれる空間をつくる
- ずっといたくなる場をつくる
- 名古屋を象徴する景観をつくる



#### 安心・安全な公共空間

- 災害・犯罪から市民を守る
- 高質な自然環境を守り、育てる
- 多様な人を受け入れる



### 管理運営方針

#### いつもの居場所にする

- 飲食・物販など多様な利活用サービスの提供
- 様々な遊び・学び・体験の提供

#### 公共空間をみんなで育て、継承する

- 地域に愛され、誇りとなる空間づくり
- 利用者や地域にやさしい仕組みづくり

#### 安心できる公共空間にする

- 高質管理による日常的な安心・安全の提供
- 災害時の避難・退避スペースとして機能

### 周辺のまちとの連携方針

#### 久屋大通の魅力さをさらに高める

- エリアプロモーションの推進
- 国内外からの関心を高める効果的な情報発信

#### 久屋大通の魅力が周辺に波及する

- 公園側に開いた沿道建物の設えの誘導
- 歩行者が回遊しやすい空間の形成

#### 久屋大通一体が連携する

- デジタル技術を用いた一体的なマネジメント
- 久屋大通の魅力向上と地域価値向上の好循環の形成